

ホームページ掲載内容

研究課題名: 転移性脳腫瘍放射線治療における、IMRT 技法を用いた頭髪温存についての研究

研究責任者: 浦安病院放射線科 齋藤アンネ優子

研究分担者: 浦安病院放射線科 木村琢

研究の意義と目的:

全脳照射は転移性脳腫瘍の標準治療として確立されていますが、副作用として多くの人に一時的な脱毛が発生することが分かっており、頭髪を喪失することで QOL(生活の質)を大きく損なってしまいます。

放射線照射による脱毛の程度は線量に比例すると考えられるため、頭皮の線量を選択的に低下させることができれば脱毛を起りにくくすることが出来るかもしれません。これにより QOL の改善が期待出来ます。放射線治療には IMRT という、放射線の線量の分布を変化させる技術があります。この技術を用いれば頭皮の被爆線量を低下させられるかもしれません。そこで、当院で実際に線量計算を行い、どの程度の線量低下が可能であるかを調べます。

具体的には過去に当院で全脳照射を行なった患者さんの治療データを用いて、IMRT 技術で頭皮線量を低下させる治療プランを作成します。線量計算した結果を実際に患者さんが過去に行なった全脳照射のプランと比較することで、頭皮の被爆量をどの程度減らすことが出来るかを調べます。この研究で十分な線量低下が見込めれば、収集したデータを基に脱毛が起りにくい全脳照射の治療方法を開発したいと思います。

観察研究の方法:

本研究の対象となる患者さんは、2018 年 3 月 11 日までに当院で転移性脳腫瘍に対して全脳照射を受けられた方のうち、直近 30 人を対象とします。

利用させていただく情報は下記です。

治療計画に利用した CT 画像

研究実施期間: 承認日 ~ 西暦 2020 年 3 月 31 日

被験者の保護:

本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言(2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会[ブラジル]で修正版)及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針(2017 年 2 月 28 日)に従って本研究を実施します。

個人情報保護:

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。
また、研究成果を学会や学術雑誌で発表しますが、患者さん個人を特定
できる個人情報を含みません。

利益相反について:

本研究は、放射線科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等から
の資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するもの
です。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、
本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望が
ございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先:

順天堂大学医学部附属浦安病院 放射線科

電話:047-353-3111 (内線)3267

研究責任者:齋藤アンネ優子